

令和8年4月定例記者会見要旨(令和8年4月27日)

1. 瀬戸中央自動車道・坂出北インターの四国方面出入口が開通して1カ月余が過ぎました。フルインター化が実現し、物流や観光面などで関係方面からは、どのような反応が寄せられておりますでしょうか。整備効果の分析はまだ先の話でしょうが、これまでのところで印象的な生の声などあれば、お聞かせください。

坂出北インターチェンジの四国方面出入口が開通から1カ月余り経過し、番の州企業などからは「四国方面への輸送時間が短縮され大きな効果がある」「高速道路までの時間が短縮された」「出勤や出張においても便利になった」など物流面での利便性向上を実感する声や、「市街地を通行する大型車が減って、以前より安全に学生が通学できるようになった」など、フルインター化の効果を一定程度確認できるものと受け止めております。

また、瀬戸大橋記念公園などの観光関係者からも、来客増への期待の声が聞かれており、今後の需要拡大にもつながるものと期待しております。

なお、本四高速からのデータによりますと、四国方面出入口の開通日翌日の3月21日から4月20日までの坂出北料金所における本州・四国方面の出入合計交通量は、昨年と比較して、一日平均で約7,000台から8,500台へと、約1,500台増加しており、四国方面出入口の開通がその大きな要因となっていると聞いております。

引き続き、交通動向や地域経済への波及効果を注視しながら、その効果を最大限に活かしてまいりたいと考えております。